

科目ナンバー： BC5134

授業コード： 2230501300

講義科目名称： フォレンジック看護論

英文科目名称： Forensic Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	看護師課程選択必修
担当教員			
◎舩山健二、杉山泰子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 15時間
	【担当教員】 [教員名] [所属] [研究室] [メールアドレス] ◎舩山 健二 新潟県立看護大学 306 funayama@niigata-cn.ac.jp 杉山 泰子 三重県立看護大学母性看護学 ・実務経験のある教員が担当します。	
	【本学の科目区分】 専門科目	
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程	
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎ ○ ○	

到達目標	1. フォレンジック看護の対象や実践内容を説明できる。 2. 暴力と各種虐待の構造と類型について説明できる。 3. 代理人によるミュンヒハウゼン症候群について説明できる。 4. Intimate Partner Violence：IPV(親密関係における暴力)被害者に対する看護と配慮事項を説明できる。 5. トラウマインフォームドケアの考え方をを用いたグループワークが展開できる。 6. 受刑者、医療観察法対象者、触法精神障害者の違いについて述べるができる。 7. 人間の死に関する諸事象について説明できる。 8. 創傷の種類を同定し、正しい名称を用いた、適切な看護記録を作成できる。
------	--

授業概要	看護実践における法科学と接する諸事象に対する看護について、社会課題を含め学修する。 学修内容は、授業計画欄を参照。
------	--

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：フォレンジック看護概論・暴力と虐待 学修内容：1. フォレンジック看護とは 2. フォレンジック看護の対象 3. 暴力と虐待の構造、類型 事前学修：本時の授業計画に記されている用語の意味を調べたうえで、授業に臨む 事後学修：配付資料を読み返し、授業中に示された関連資料の確認を行う 備考：舩山
	2	授業内容 授業形態：講義 学修課題：代理人によるミュンヒハウゼン症候群 学修内容：代理人によるミュンヒハウゼン症候群を例示し詳解する 事前学修：本時の授業計画に記されている用語の意味を調べたうえで、授業に臨む 事後学修：配付資料を読み返し、授業中に示された関連資料の確認を行う 備考：舩山
	3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：医療機関を受診したIPV(Intimate Partner Violence)被害者に対する看護 学修内容：Intimate Partner Violence：IPV(親密関係における暴力)被害者に対する看護 事前学修：本時の授業計画に記されている用語の意味を調べたうえで、授業に臨む 事後学修：配付資料を読み返し、授業中に示された関連資料の確認を行う 備考：杉山
	4	授業内容 授業形態：演習（グループワーク） 学修課題：医療機関を受診したIPV(Intimate Partner Violence)被害者に対する看護 学修内容：Intimate Partner Violence：IPV(親密関係における暴力)被害者に対する看護 事前学修：本時の授業計画に記されている用語の意味を調べたうえで、授業に臨む 事後学修：グループワークや発表で気になったことについて調べる 備考：杉山
	5	授業内容

	授業形態：講義・演習（グループワーク） 学修課題：トラウマインフォームドケア 学修内容：トラウマインフォームドケア 事前学修：本時の授業計画に記されている用語の意味を調べたうえで、授業に臨む 事後学修：グループワークや発表で気になったことについて調べる 備考：船山 6 授業内容 授業形態：講義 学修課題：司法精神看護 学修内容：受刑者、医療観察法対象者、触法精神障害者の違いと各々の看護について詳解する 事前学修：本時の授業計画に記されている用語の意味を調べたうえで、授業に臨む 事後学修：配付資料を読み返し、授業中に示された関連資料の確認を行う 備考：船山 7 授業内容 授業形態：講義 学修課題：死亡診断 学修内容：死亡診断（三徴候説：不確徴）と死体現象（死の確徴）・異状死・窒息・遠隔死亡診断について詳解する 事前学修：本時の授業計画に記されている用語の意味を調べたうえで、授業に臨む 事後学修：配付資料を読み返し、授業中に示された関連資料の確認を行う 備考：船山 8 授業内容 授業形態：講義 学修課題：創傷と記録 学修内容：創傷の観察と記録の方法 事前学修：「創傷」という用語の意味を調べたうえで、授業に臨む 事後学修：配付資料を読み返し、授業中に示された関連資料の確認を行う 備考：船山
評価方法、評価基準	到達目標1～4・6～8について、リアクションペーパーの提出・記載内容による評価30%、到達目標4・5について、グループワークの発表による評価10%、到達目標1～8について、期末試験（筆記試験）評価60%により評価する。欠席した場合は、リアクションペーパーを後日提出することで、評価対象とする。また、リアクションペーパーの提出をもって、出席確認とし未提出の場合は欠席となる。
必携図書	必要な資料は、授業時に配付するため、必携図書は指定しない。
参考図書・資料等	柳井圭子監訳(2020)フォレンジック看護ハンドブック-法と医療の領域で協働する看護実践, 福村出版. 美作宗太郎監修, 山田典子編著(2017)臨床法医学入門-コメディカルにも役立つ虐待・性犯罪・薬物対応の基礎知識-, 明石書店. 加納尚美, 李節子, 家吉望み編(2025)フォレンジック看護第2版-性暴力被害者支援の基本から実践まで-, 医歯薬出版. 一杉正仁, 立岡弓子編(2023)法医学看護学, 南山堂. 池田典昭, 木下博之編(2022)標準法医学, 第8版, 医学書院. 久保真一, 神田芳郎, 池松和哉, 佐藤寛晃編(2024)学生のための法医学, 第7版, 南山堂. 一般社団法人日本フォレンジック看護学会(2024)日本フォレンジック看護学会10周年記念誌, 一般社団法人日本フォレンジック看護学会.
受講、課題、資料配布等のルール	・90分授業のうち20分以上の不在は欠席とみなす。 ・欠席等の連絡は科目責任者：船山へ連絡（メールは返信を確認し、返答が必要な場合には返信）すること。
教員からのメッセージ	・この授業は、自分自身と患者を守ることに役立つと思います。 ・フォレンジック看護に興味関心を深めてもらえるように頑張ります！ ・授業への積極的な参加をお待ちしています！
オフィスアワー	・質問はメールで随時対応します。 ・研究室へ訪室希望の場合は、事前にメール等で日時を事前に予約することをお勧めします。